

来年は中学校の教科書採択 採択戦勝利に向け、一般質問！

来年八月には中学校の教科書採択が行われます。今回こそは勝利をすべく、議会側からの取り組みを頑張ります。

議会においては、来年八月の採択までに、十二月議会、三月議会、六月議会と三回しかチャンスが残されていません。そこで、教科書採択について、十二月議会でも取り上げましたので、内容の一端を報告させていただきます。

一、「調査研究資料」をチェック

千葉市では教科書選定委員会を組織し調査研究資料を取りまとめ教育委員に示し採択が行われます。そこで、調査研究資料の内容についてチェックし、適切な調査研究の実施を求めました。

例えば、東京都の前回の歴史の調査研究資料では、教科書に登場する歴史上の人物の数について、学び舎・四六四、自由社・七七三、と示し、自由社の優位性が定量的

に示されていますが、こうした資料を作成し、採択権者である教育委員に「歴史教育を充実するなら自由社が良い」と考えてもらうことが重要と考えています。

二、「間接的な絞り込み」が行われていないかチェック

調査研究資料や選定委員会の議事録を見て「間接的な絞り込み」が行われていないかチェックしました。調査研究にあたっては、文部科学省により「調査員等が作成する資料においてそれぞれの教科書について何らかの評定を付す場合であっても、…、当該評定に拘束力があるかのような取扱いを行うことにより、採択権者の責任が不明確になることがないよう留意すること」と通知で示されていますが、過去の選定委員会の議事録では「推薦するのならA社、B社、C社と考える」などと、調査研究段階で特定の教科書を推薦し、教育委員は推薦を



千葉市議会議員
(自由民主党)
美浜区選挙区・2期
伊藤 隆広
いとう たかひろ

受けた教科書からしか選べないような状況をつくりだしている(「間接的な絞り込み」が行われている)疑いが認められたため、今後、同様の事態が生じないように改善を求めました。

採択戦勝利に向け、引き続き皆様と心を一つにして頑張ります。

◆第四回定例議会「教科書問題」発言者 (議連把握・順不同)

- ① いせだ幸正 埼玉県富士見市議 維新
- ② わたなべ友貴 東京都杉並区議 自民
- ③ 折本たつり 千葉県議 無所属
- ④ 伊藤たかひろ 千葉県千葉市議 自民
- ⑤ 丸山れいこ 東京都江戸川区議 維新
- ⑥ 二瓶文隆 東京都江東区議 国民民主
- ⑦ 千田まさひろ 東京都江東区議 維新
- ⑧ 浜中吾郎 千葉県市原市議 無所属
- ⑨ 田沼たかし 千葉県議 維新